この度は、「M03」をお買い上げいただきましてありがとうございました。

M03は「4系統入力切替」「3系統出力切替」が可能なDAW用モニターシステムです。

入力に、DAWアウトなどのマスタリング前の大入力にも対応したアッテネータートリム（1系統:バランス）、i Podなどの小入力にも対応したゲイントリム（1系統:アンバランス）が搭載しています。

モニター出力3系統のうち、2系統についてはトリムを搭載し、効率の違うスピーカーシステムのレベル調整が可能になっています。

またモニター出力とは別に、選択したソースとトークバックをブースに送る「スタジオ」、選択したソースをスルーで出力する「ソースセレクト」があります。

⚠ 製品をより安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず本書をお読みください。

内容物 −ご使用の前に内容物をご確認ください−

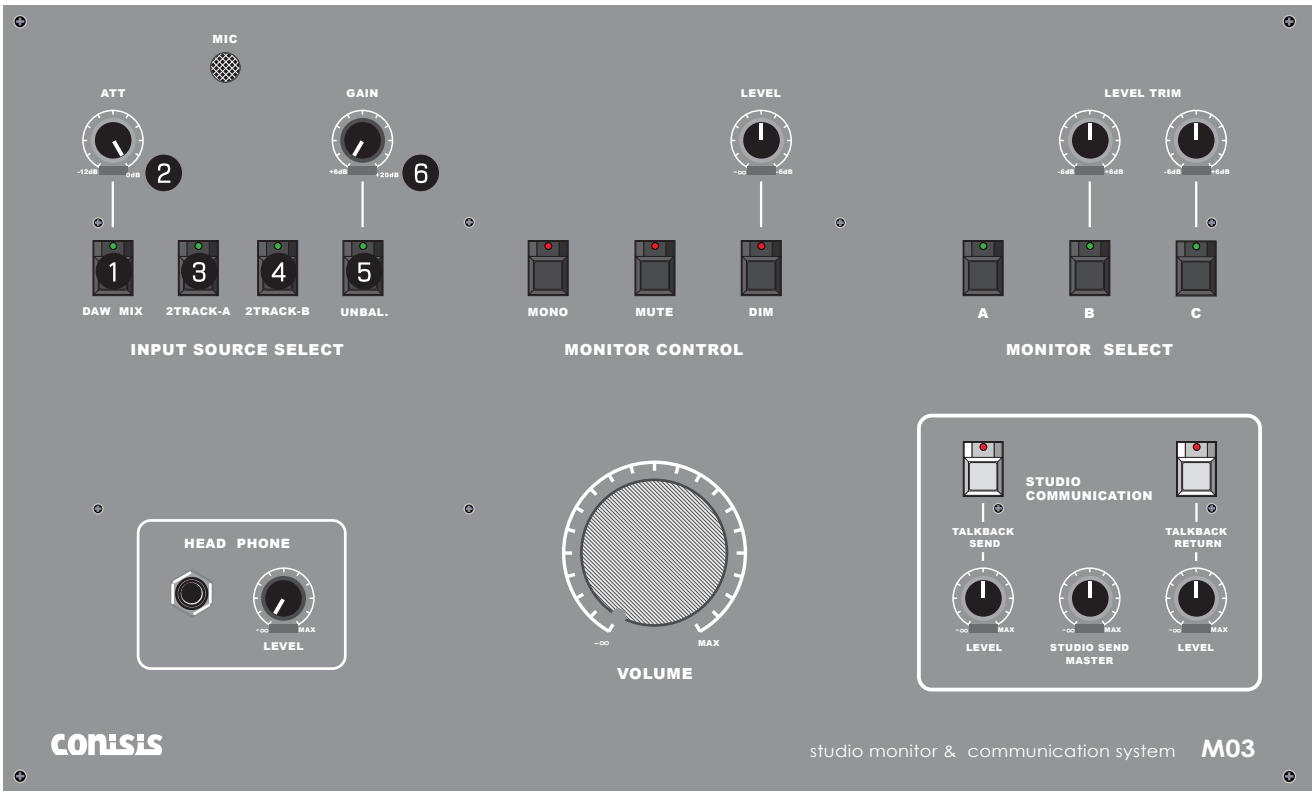
- M03本体
- ACケーブル
- 製品マニュアル 及び 保証書（本書）

万が一、内容物に欠品がある場合は弊社までご連絡ください。

—— 製品マニュアル目次 ——

1ページ ・・・・・ はじめに・内容物の確認
2〜6ページ ・・ 機能説明（フロントパネル）
7ページ ・・・・・ 機能説明（リアパネル）
8ページ ・・・・・ 接続例
9ページ ・・・・・ ブロックダイアグラム
10ページ ・・・ 製品仕様・保証書

機能説明　フロントパネル



インプット ソース セレクト・セクション
3系統のバランスと1系統のアンバランスの合計4系統のステレオ入力選択を行います。
複数の「入力選択ボタン」を同時に選択する事により、「入力1」に入れたものと「入力2」入れたものを同時に出力する事も可能です。

❶ DAW MIX
DAW MIX ステレオ・バランス インプットに接続された信号を選択します。

❷ ATT TRIM　可変範囲:−12dB〜0dB
DAW MIX ステレオ・バランス インプットに接続された信号をアッテネート(減衰)する為のトリムです。

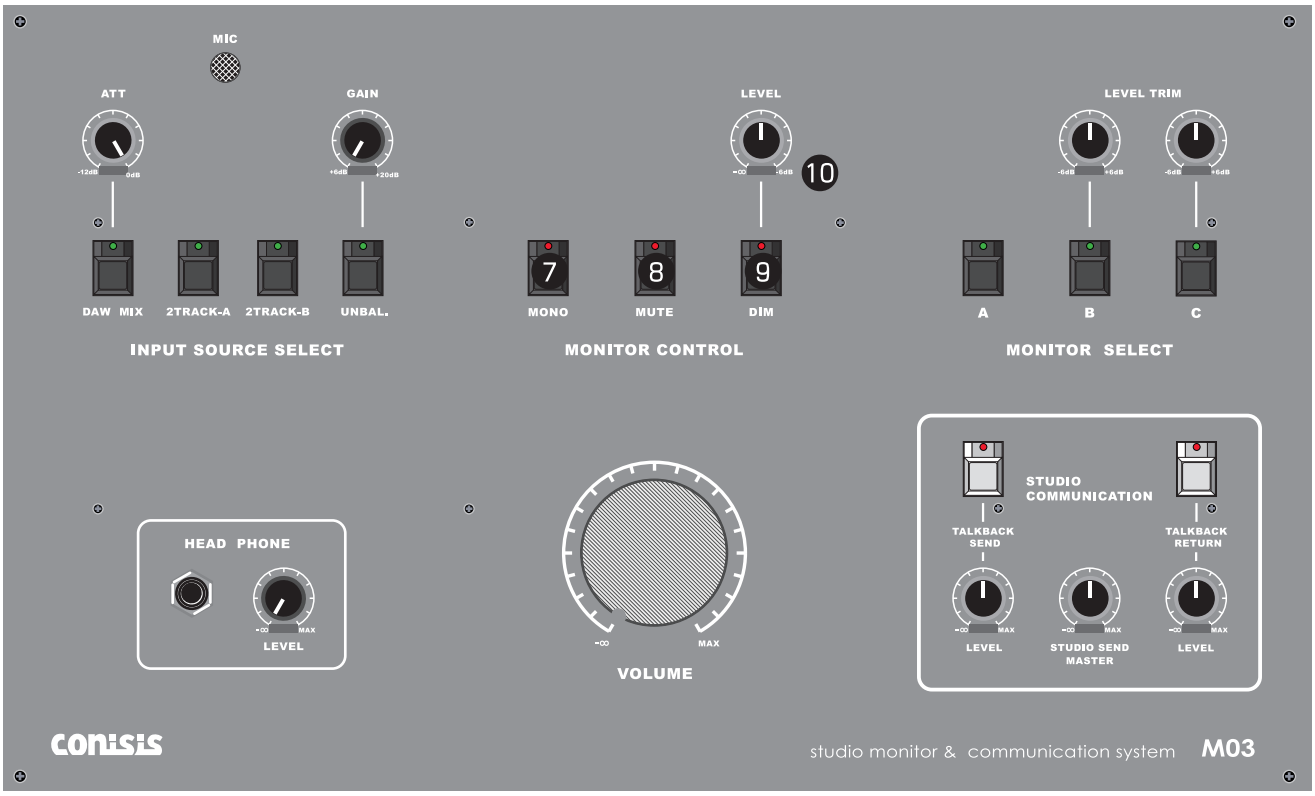
❸ 2TRACK−A
2TRACK−A ステレオ・バランス インプットに接続された信号を選択します。

❹ 2TRACK−B
2TRACK−B ステレオ・バランス インプットに接続された信号を選択します。

❺ UNBAL.
UNBAL. ステレオ・ アンバランス インプットに接続された信号を選択します。
ポータブル・ミュージックプレイヤーなどの民生機器(−10dBV基準)との接続に適しています。

❻ GAIN TRIM　可変範囲:+6dB〜20dB
UNBAL. ステレオ・ アンバランス インプットに接続された信号を増幅する為のトリムです。
ポータブル・ミュージックプレイヤーなどの民生機器(−10dBV基準)との接続に適しています。
+4dBu基準の機器を接続した場合、このトリムを上げすぎると音が歪みますのでご注意下さい。

機能説明　フロントパネル



モニター コントロール・セクション
スピーカーなどのモニターに「MONO」、「MUTE」、「DIM」の操作を行います。
DIMレベルも調整できます。

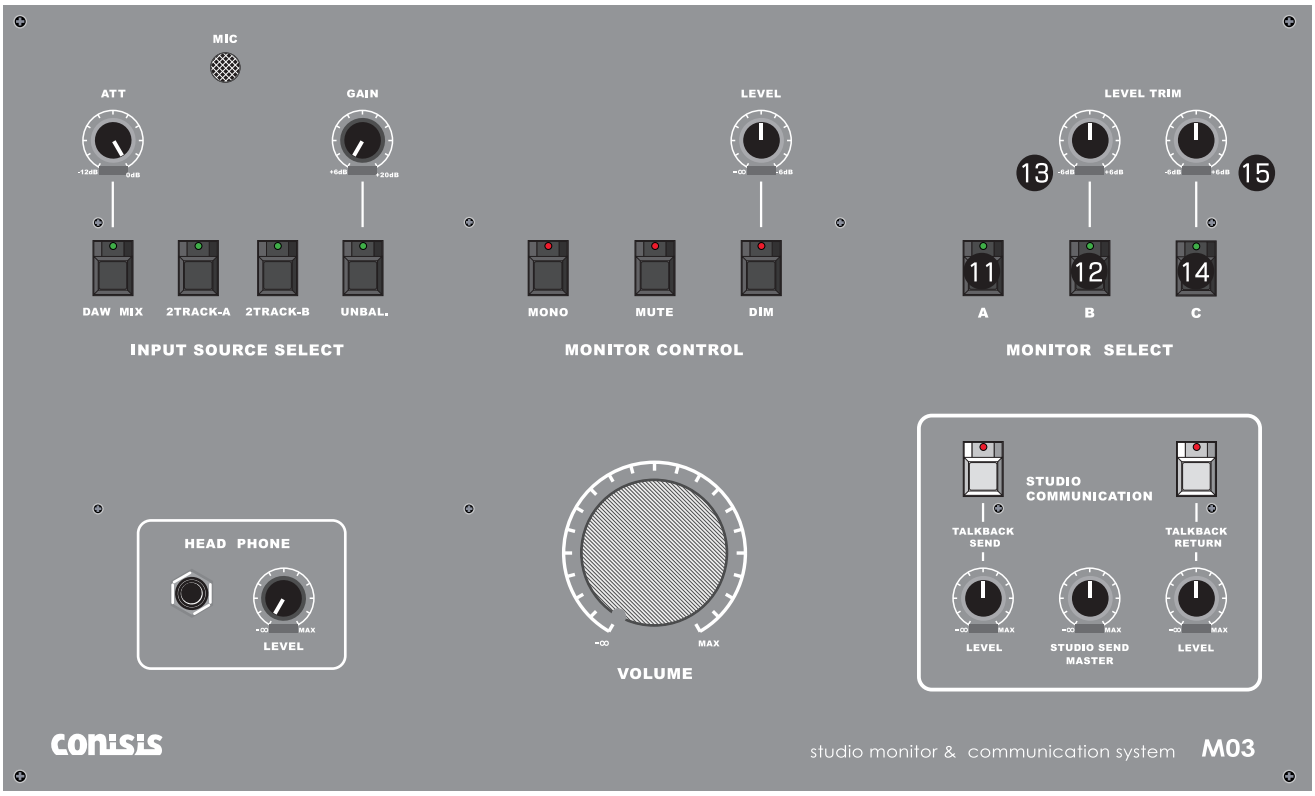
❼ MONO
入力されたステレオ信号は、MONITOR A、B、C アウトプットの直前でモノラル信号にまとめられます。
左右の入力信号は合計され、モノラル信号として左右2つのアウトプットから出力されます。
ステレオ信号がモノラルシステムで再生された場合に起こり得る位相のトラブルチェックに役立ちます。

❽ MUTE
MONITOR A、B、C アウトプットの信号はミュートされます。

❾ DIM
MONITOR A、B、C アウトプットの信号は　のトリムで調整した⑩ベルに
減衰して出力されます。TALKBACK SEND⑲、TALKBACK RETURN㉓スイッチを押した時も動作します。

❿ DIM　LEVEL TRIM ❾ 可変範囲:－∞～－6dB
DIMスイッチ　を押した時に、MONITOR A、B、C アウトプットに出力される信号を
どれくらい減衰させるかを調整するレベルトリムです。

機能説明　フロントパネル



モニターセレクト・セクション
2系統のバランスと1系統のアンバランスの合計3系統のステレオ・モニター出力選択を行います。
そのうち「MONITOR B」、「MONITOR C」の2系統についてはトリムを搭載。
効率の違うスピーカーシステムのレベル調整が可能です。

⓫ MONITOR A
現在選択している入力ソースがMONITOR Aアウトプット(ステレオ・バランス)に出力されます。

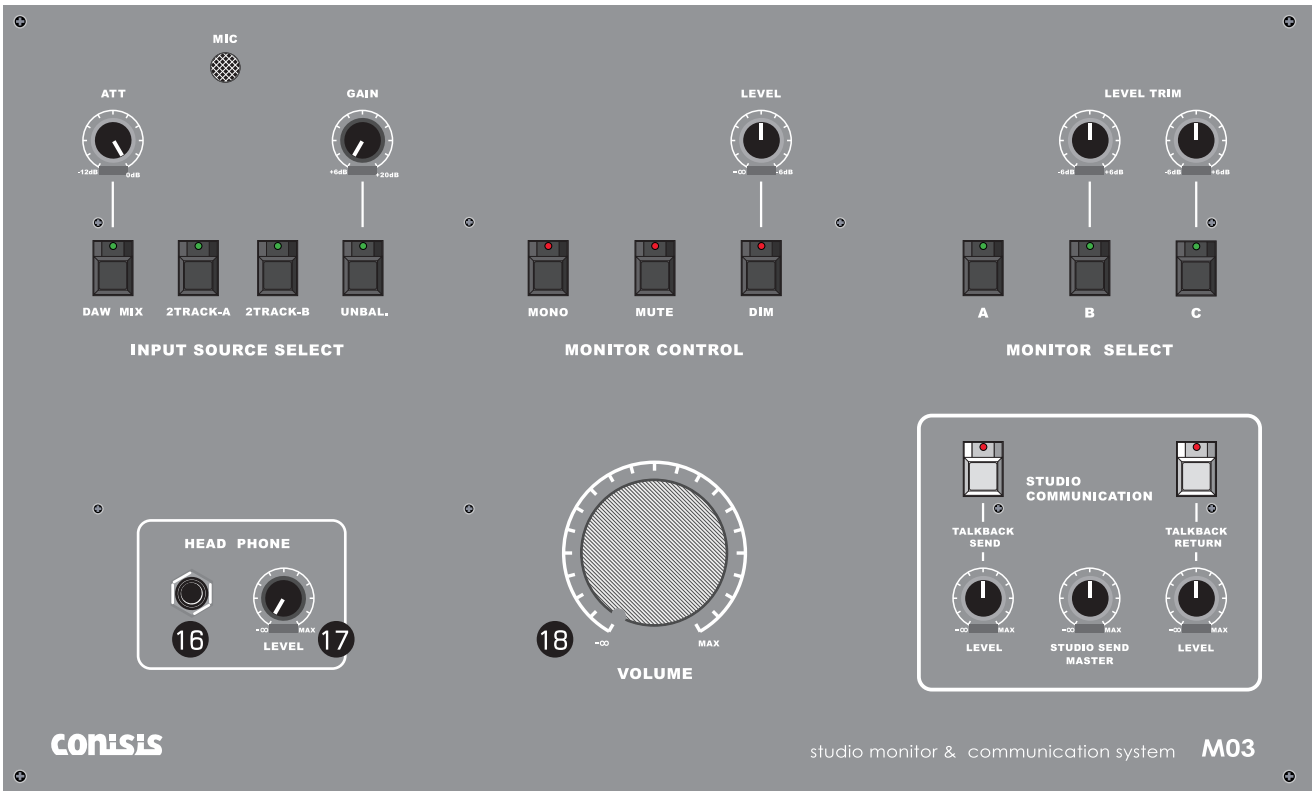
⓬ MONITOR B
現在選択している入力ソースがMONITOR Bアウトプット(ステレオ・バランス)
に出力されます。

⓭ MONITOR B　LEVEL TRIM　　可変範囲:+6dB～+6dB
MONITOR Bアウトプット(ステレオ・バランス)に出力されるレベルを調整するトリムです。

⓮ MONITOR C
現在選択している入力ソースがMONITOR Bアウトプット(ステレオ・バランス)に出力されます。

⓯ MONITOR C　LEVEL TRIM　　可変範囲:+6dB～+6dB
MONITOR Cアウトプット(ステレオ・バランス)に出力されるレベルを調整するトリムです。

機能説明　フロントパネル



ヘッドフォン セクション
リファレンスに最適な高音質ヘッドフォンアンプを搭載しております。
VOLUMEノブには影響がありません

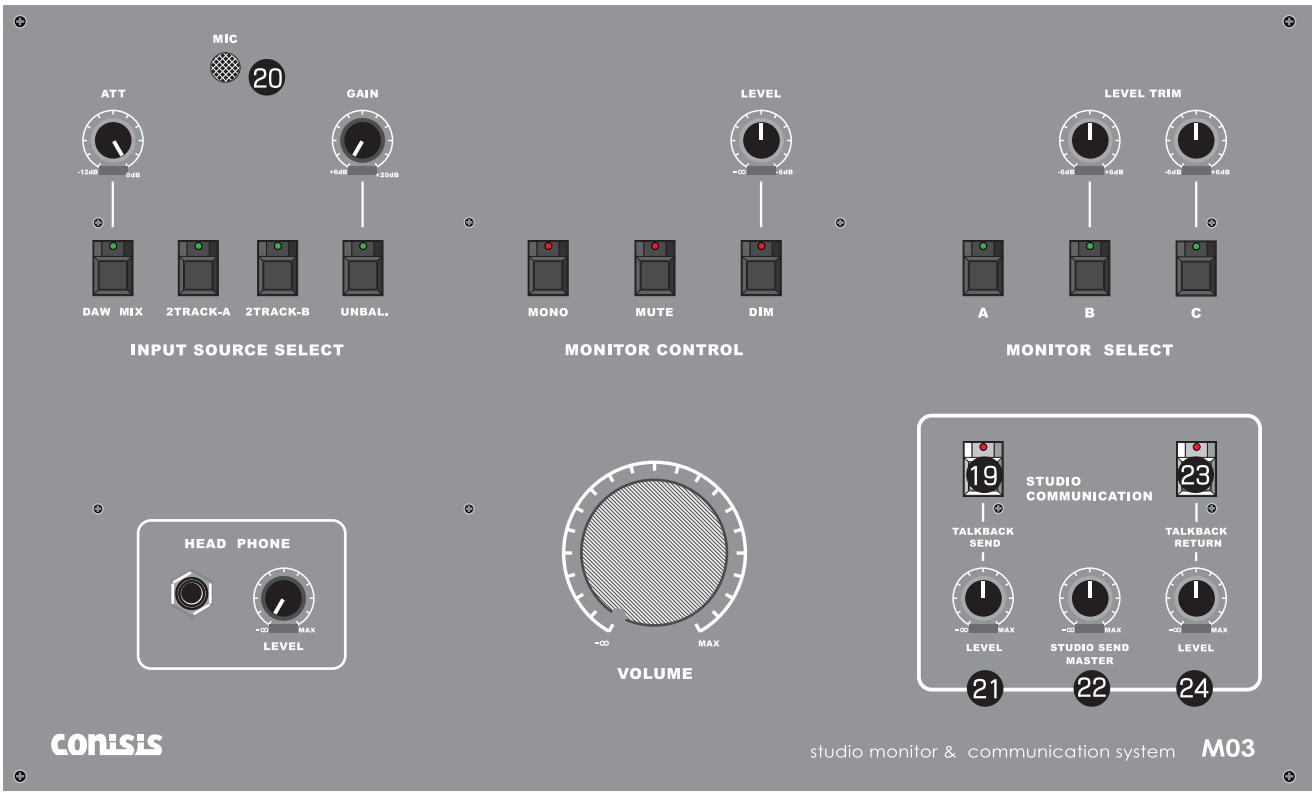
⑯ HEAD PHONE・CONNECTOR
ヘッドフォンを接続するコネクタです。（1／4インチ ステレオフォーン・コネクタ）

⑰ HEAD PHONE・LEVEL TRIM
ヘッドフォンレベルを調整するトリムです。必ずトリムを下げた状態からレベルを調整して下さい。
トリムを上げすぎますと耳を痛めます。ご注意下さい。

モニターボリューム
モニターボリュームを調整します。大型のノブと高品位のボリュームにより、
快適なモニター調整を行う事ができます。

⑱ VOLUME KNOB
選択されたモニター出力に送られる、入力ソースのボリュームを調整します。
このVOLUMEノブによってコントロールされるのは、MONITOR A、B、C アウトプットです。
STUDIO OUTやSOURCE SELECT OUT、HEAD PHONE ⑯⑰には影響しません。

機能説明　フロントパネル



スタジオ コミュニケーション・セクション
スタジオに送る、M03（コントロール・ルーム）からのトークバックと入力ソースソースの
レベル調整を行います。またスタジオからのトークバックのレベル調整も行います。

⑲ TALKBACK SEND
M03（コントロール・ルーム）からのトークバックがスタジオに送られます。
また押した状態で、インプット・セレクト セクションで選択したソースは、
M03のモニターアウトプットにはDimがかかり、スタジオ側（スタジオアウトプット）はMUTEされます。

⑳ TALKBACK MIC
内蔵の高感度エレクトレット・コンデンサマイクにより、スタジオ側に明瞭な
トークバックを送る事ができます

㉑ TALKBACK SEND・LEVEL TRIM
スタジオに送るトークバックのレベル調整を行うトリムです。

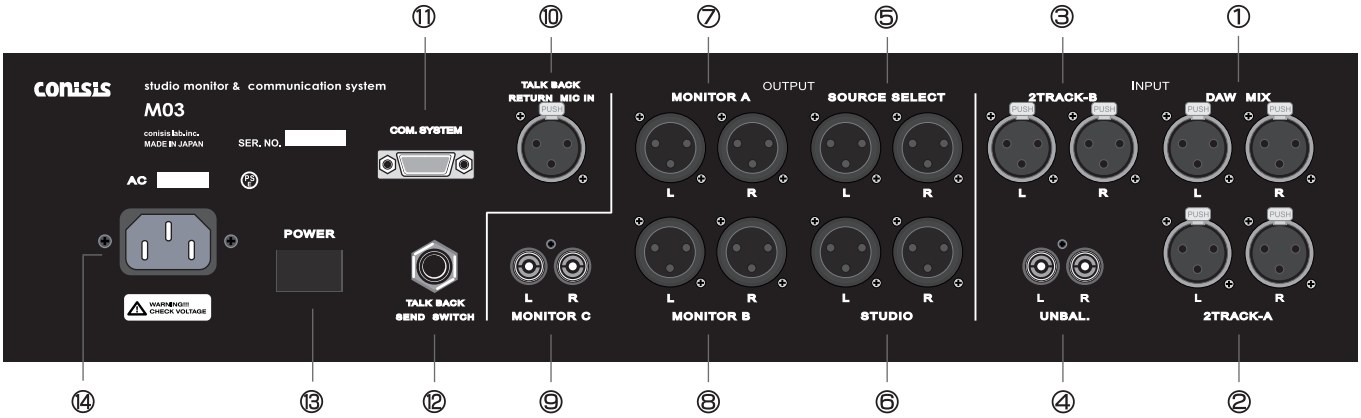
㉒ STUDIO SEND MASTER
このトリムで、スタジオに送る入力ソースのレベルを調整します。
尚、このトリムはトークバックセンド・レベルにも連動しています。
（トークバックリターンには連動しません。）

㉓ TALKBACK RETURN
ONの状態で、スタジオに立てたトークバックマイクからの音が来ます。
またONの状態で入力ソースは、こちら側はDimがかかり、スタジオ側はMUTEされます。

㉔ TALKBACK RETURN・LEVEL TRIM
スタジオからのトークバックのレベル調整を行うトリムです。

機能説明

リアパネル



① DAW MIX
XLRメス、バランスのステレオ・インプットです。DAWのメインミックス・アウトを接続します。

② 2TRACK−A
XLRメス、バランスのステレオ・インプットです。CDプレーヤーなどを接続します。

③ 2TRACK−B
XLRメス、バランスのステレオ・インプットです。CDプレーヤーなどを接続します。

④ 2TRACK−C
RCAピン、アンバランスのステレオ・インプットです。ポータブル・ミュージック・プレーヤーなど
出力レベルの低い民生機器を接続します。（基準レベルが−10dBVの機器）

⑤ SOURCE SELECT
XLRオス、バランスのステレオ・アウトプットです。選択した入力ソースをスルー出力します。
VUメーターなどを接続すると便利です。

⑥ STUDIO
XLRオス、バランスのステレオ・アウトプットです。スタジオに、トークバックや選択した入力ソースを送ります。
スタジオ・コミュニケーション セクションの出力です。（トークバック・リターンには影響していません）

⑦ MONITOR A
XLRオス、バランスのステレオ・アウトプットです。外部の１組目のスピーカーを接続します。
パワードモニター、あるいはパッシブスピーカーを駆動するパワーアンプに接続します。

⑧ MONITOR B
XLRオス、バランスのステレオ・アウトプットです。外部の2組目のスピーカーを接続します。
パワードモニター、あるいはパッシブスピーカーを駆動するパワーアンプに接続します。

⑨ MONITOR C
RCAピン、アンバランスのステレオ・アウトプットです。外部の3組目のスピーカーを接続します。
ラジカセなどに接続します。

⑩ TALKBACK RETURN MIC IN
XLRメス、バランスのインプットです。スタジオのトークバックマイクを入力します。+48V出力はありません。

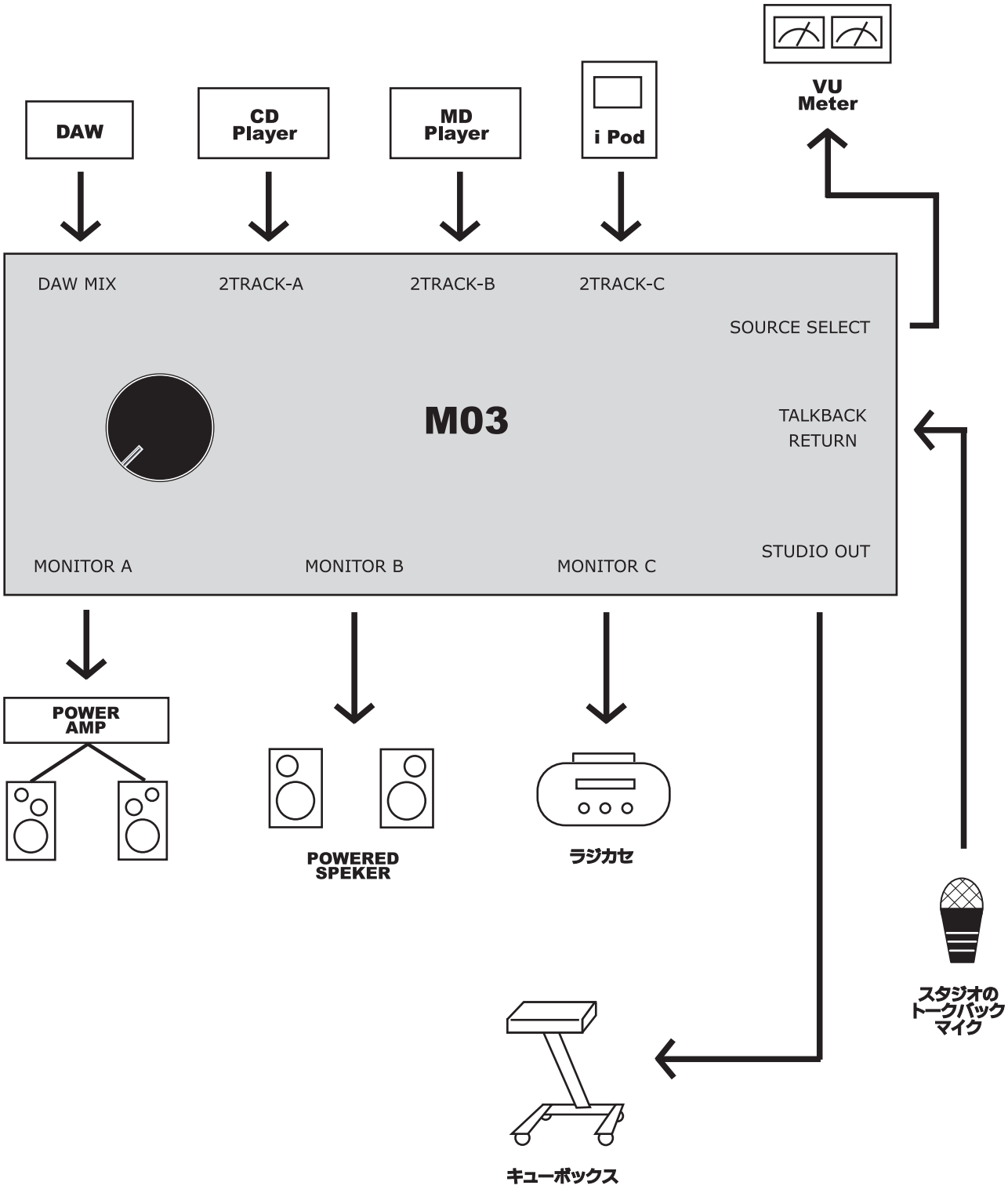
⑪ COM. SYSTEM
Dsub9ピンメスのインプットです。当社COM28シリーズのキューボックスと接続します。
COM28からオートのトークバックを受ける為のコネクタです。

⑫ TALKBACK SEND SWITCH
2P PHONE 、アンバランス。トークバック・ボックスやフットスイッチを接続して、トークバックをリモート操作できます。

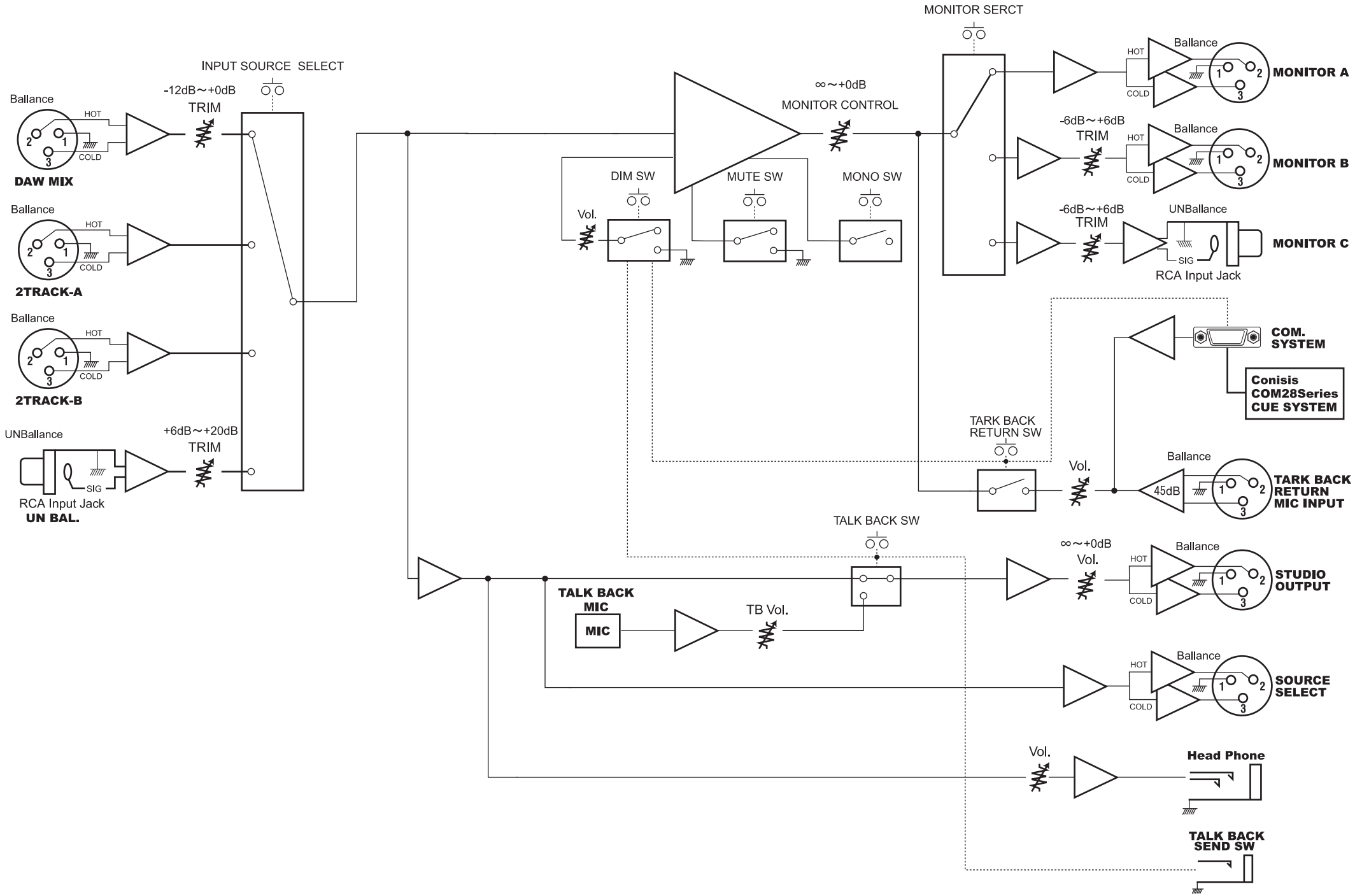
⑬ POWER
電源のON/OFFを行うスイッチです。

⑭ ACインレット
ACケーブルを接続するコネクタです。100Vでお使い下さい。

M03 接続例


VU
Meter
DAW
CD
Player
MD
Player
i Pod
DAW MIX
2TRACK-A
2TRACK-B
2TRACK-C
SOURCE SELECT
M03
TALKBACK
RETURN
STUDIO OUT
MONITOR A
MONITOR B
MONITOR C
POWER
AMP
POWERED
SPEKER
ラジカセ
スタジオの
トークバック
マイク
キューボックス

BLOCK DIAGRAM



入力	
入力数	4系統(ステレオ)＊同時複数選択可能
入力端子	XLR3-31(メス/バランス):3系統 RCAピン(アンバランス):1系統
入力レベル	基準:+4dBu(最大:+27dBu)
入力レベル可変範囲	バランス1系統:-12dB～0dB アンバランス1系統:+6dB～+12dB
入力インピーダンス	15KΩ(バランス)、30KΩ(アンバランス)

モニター出力	
出力数	3系統(ステレオ)＊切り替え
モニター出力端子	XLR3-32(オス/バランス):2系統 RCAピン(アンバランス):1系統
出力レベル	基準:+4dBu(最大:+27dBu)
モニター出力可変範囲	バランス1系統:-6dB ～ +6dB アンバランス1系統:-6dB ～ +6dB
出力インピーダンス	51Ω(バランス)、100Ω(アンバランス)

その他の入力	
入力数/入力端子	RTB(リターントークバック)マイクイン:1系統 XLR3-31(メス/バランス) トークバックセンドスイッチ:1系統 2P PHONE(アンバランス)
RTBゲイン可変範囲	∞～+45dB
RTB入力インピーダンス	100KΩ(バランス)

その他の出力	
出力数/出力端子	ソースセレクト:1系統 (ステレオ) XLR3-32(オス/バランス) スタジオセンド:1系統 (ステレオ) XLR3-32(オス/バランス) ヘッドフォン出力:1系統 (ステレオ) 2P PHONE(アンバランス)

性能、サイズ	
周波数特性	5Hz-100KHz
外形寸法(突起部を除く)	450W×281D×98.6H
重量	4.0kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	15W
付属品	保証書、ACケーブル

保証

本機が出荷日より1年内に故障が発生した場合には、無料にて修理を行う事を約束致します。その場合、出荷日が明記された本書自体が保証書となります。この保証は日本国内においてのみ有効です。

保証期間内でも次の場合には有料にさせて頂きます。

1、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
2、お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
3、火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)
　異常電圧、指定外の使用電源等による故障及び損傷
4、車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
5、本書の提示がない場合
6、本書に出荷日が記入されていない場合、或いはこの字句を書き換えられた場合
7、本書に販売店印が押されていない場合
8、本書のナンバー(SER.NO.)と機器本体のナンバーが一致しない場合
9、遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

MODEL	M03
SERIAL No.	9S3
出荷年月日	2009 年 9 月 12 日
販売店名	2009. 08. 13

株式会社コニシス研究所　〒152-0004　東京都目黒区鷹番3-4-13 笹崎ビルB1
Tel. 03-3712-1137 Fax. 03-3714-2730
E-mail　info@conisis.com